

# N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO: PO Box 6414 Lincoln NE 68506 USA www.nsdapao.org

#1086 06.01.2024 (135)

# ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen 政治的な兵役: SAの伝統と精神

第9部

#### **BE COMRADELY!**

### 仲間意識は、コミュニティの前提条件です!

我々の運動は、外圧に影響されず、外圧に負けることもない、なぜなら 我々は、不滅の思想の共同体を形成しているからである。それは、思想と 党に対する国家社会主義者の忠誠と、われわれ自身の間の同志愛に根ざし ている。この内なる前線が挫折するときだけ、運動は危険に直面する。だ からこそ、反逆罪とは別に、同志愛の欠如は、政治的兵士が党に対して犯 しうる最悪の罪なのである!

同志になれない者は、茶シャツ軍団に居場所はない!

同志愛とは、友情とは異なるもので、個人的な同情に基づくものではありません:

どんな大きなコミュニティにも、互いに共感し合い、それゆえに特に緊密に結束する人々がいるはずだ。すべての戦闘員との同志的なコミットメントが損なわれない限り、それは何も悪いことではありません。しかし、我々の思想的共同体の不滅性は、そのような友情に基づくものではない。むしろ、それは共通の精神に基づいている!どのような大きな共同体にも、性格や傾向があまりにも異なり、対立しているため、互いに嫌悪感以上のものを示すことができない人々も存在する。政治的な兵士が、自分が軍隊に属しているのは、個人的な嫌疑を晴らすためではなく、共通の目標のために戦うためであることを決して忘れない限り、これにも何の問題もないのである。したがって、個人的な感情が部隊の内部構造と外部的な有効性に負担をかけ、あるいは脅威となることは決して許されない。

だからこそ、同志としての義務は、いかなる個人的な愛情や嫌悪感よりも高い位置にあるのです。政治的信念を共有し、共通の世界観と人生観によってわれわれと結ばれ、われわれの側でそのために精一杯戦う者は、誰でもわれわれの同志である!政治的兵士は、同志の側に立ち、同志を助け、同志を支援し、同志を擁護する。必要であれば、同志のために命をかけなければならない--個人的な感情のためではなく、共通の闘いと目標のために!個々の同志に対する外部からの攻撃に直面した場合、誰もが共に立ち上がらなければならない。敵は知っているはずだ:

国家社会主義者を攻撃する者は、すべての人を攻撃し、それに対応する反応を期待しなければならない!

しかし、政治的批判から個々の同志に向けられるのではなく、部隊内の個人的な嫌悪感からくるいかなる種類の攻撃も、共同体が一緒になって防ぎ、その芽を摘まなければならない。指導部のいかなるメンバーも、他のすべての資質や可能なメリットとは無関係に、そのような非同志的な態度によって頻繁に注目を集める悪名高い喧嘩好きで問題児を、容赦なく運動から排除することを躊躇してはならない。彼らは私たちの共同体の病気の原因であり、他の何にもましてそれを脅かしているのである!

1945年以来、何度も何度も、国別グループは、個人的な感情、嫌悪、妖

精、虚栄心よりも、党の利益と同志の義務を優先できなかったために失敗 した。

純粋に個人的な特質や習慣のために同志を攻撃する広範な傾向は、特に忌まわしいものである。この目的のために、運動に対して自分の義務を果たしている同志の私生活は、同志にも運動全体にも興味がない:

政治的兵士の価値を決めるのは、就寝時間や飲酒習慣などではなく、運動のための闘争と新秩序へのコミットメントである。政治家兵士は戦闘共同体を形成するのであって、俗人的な道徳のための宗派ではない!

私たちは、政治家兵士がここに説明した十戒に従って前向きに生きることを期待しています。これに対して、新SA創設以来、私たちは職業犯罪と薬物乱用を否定的な排除事由とみなすことだけを認めています。それに従って生き、運動の評判を損ねず、同志としての戒律に違反しない者は、同志として尊重され、共同体から支持される権利がある。一方、犯罪を犯す者は、同志の戒律に違反し、党に害を及ぼす。しかし、党の凶悪犯は、容赦なく責任を追及されなければならない。彼らには、同志的結束に反する仕事をする機会を与えてはならない:

勝利の前提は、党の政治的兵士の不滅の共同体である。しかし、この共同体の存続の前提は、同志的な義務である!だからこそ、同志愛は友情よりも重要であり、同志愛は個人的な嫌悪感よりも強くなければならないのである!

#### 国家社会主義者 - 同志的であれ!

## 自分自身に取り組む

#### 国家社会主義者は学ぶことを止めない!

国家社会主義は、独断的な教義を暗記することで、自分が信頼できる確固 たる信奉者であると考えるイデオロギーではありません。国家社会主義 は、その信奉者にもっと多くのことを要求します! 国家社会主義者の世界観が教えるのは、人生の自然法則と人間社会への適用という、わずかな原理だけである。それ以外のことは、国家社会主義者が自分自身で解決しなければならない!

新しい秩序のための闘い、その実現と発展に関する限り、党は、彼を助け、彼に一般的な方針を与える。しかし、共同体における個人の問題であり、共同体の中で自分の適切な場所を見つけ、それを自分の能力の限りを尽くして満たすことである限り、国家社会主義者は、このことに自ら取り組み、それに応じて自分を発展させるよう求められるのである:

自己認識と自己実現-それが、我々の世界観が国家社会主義者に求めるものである!彼は、自分にはどんな能力と傾向があるのか、また、どんな弱点や欠点があるのかを自問しなければならない。そして、それに従って自分を共同体に適合させる。彼は、業績や犠牲の要求を避けるために、自分を小さくしてはならないし、小さくて快適な生活を変えるような大きな責任を避けるために、自分を小さくしてはならない!両極端なことは、国家社会主義者にふさわしくありません。しかし、いったん社会における自分の適切な居場所を見つけたなら、国家社会主義者は満足することはないだろう。自分の栄誉に安住する者は、間違った場所で栄誉を身に着けているのだ!

自己認識は、自己実現に続いて、「自分を知る」ことであり、「自分らしくなる」ことである。国家社会主義者は、現状に満足することなく、常にあるべき姿のために闘い、働くのです!すべての人間の中には、その人が最初に自分で知っている以上のものがあるのです。他のすべての制度は、人間のこのような創造的な力を抑圧し、少なくとも意識的あるいは無意識的に、その力を前面に出すことを妨げる傾向がある。しかし、国家社会主義は、これらの力を目覚めさせ、共同体に奉仕させる!そして、最終的には、アドルフ・ヒトラーの言葉を借りれば、党員が本当に「人種と人格の最高の価値の体現者」になるまで、自分の中にあるすべての傾向や能力をより多く活用し、すべての弱点や欠点をより多く克服するためのたゆまぬ努力を信奉者に要求します!

すべての国家社会主義者に当てはまることは、もちろん、党の政治的な兵

士にも悪化した程度で順番に当てはまります:

若い国家社会主義者は、自分が戦士になるために生まれてきたのか、そうでないのかを早い段階で認識する。もしそうなら、茶シャツ軍に入るように説得されたり、納得させられたりする必要はない。なぜなら、そこでしか、闘争への喜び、男らしい保護観察、ブルジョワの生き方との完全な決別を実現することができないからである。

また、党が政治家兵士に与えなければならない、あらゆる扇動、迫害、苦しみ、犠牲にも直面することになる。そして今、「自分自身に取り組め!」という戒めが全面的に適用される。政治家兵士は、途中で止まってはならない。彼は、自由主義・資本主義体制の退廃の中で成長したために、まだ自分の中にあるブルジョア的弱点と習慣を完全に克服し、人生に対する英雄的態度を可能にする戦闘的資質をますます開発しなければならない。これは一回限りのプロセスではなく、数ヶ月の発展でもない。それは、生涯にわたる成熟の過程である。

このように、国家社会主義は、ブルジョワの大衆的人間と、共同体にコミットする人格とに対立する。将来の国家社会主義人民国家では、現在の国家社会主義運動と同様に、この人格形成の過程は、決して指導者層に限定されるものではない。共同体の中で自分の場所を埋めるためにあらゆる努力をし、そこで自分の能力をすべて開発し、自分の弱さと戦う、自分を卑下することも、自分に権利がないものをグロテスクに過大評価することもない個々の小労働者や戦闘員は、国家社会主義の人格であり、義務も尺度も知らない支配体制のすべての卵頭や大物よりも優れている!

もちろん、その前提条件は、無条件に正直であることだ。自分に対して も、党に対しても。党は、それに応じて個人を判断し、彼を自分の立場に 置く必要がある!

#### **BE DISCREET!**

## 1つの行いは、100の大言壮語よりも価値がある!

政治的兵士に対するこれらの非常に基本的で重要な要求の後では、秘密の戒律はむしろ二の次であるように思われる。しかし、自ら実践的な革命活

動に携わり、闘争の必要性と問題点をよく知る者は、むしろその逆であることを知るのである!

おしゃべり、自慢話、ゴシップは、政治的戦闘力の成功をしばしば危険に さらし、その麻痺と崩壊をもたらすことさえある。同志がこれらの危険を しばしば見過ごし、他の人々とは違って、この戒律を二次的な重要なもの と考え、違反しても悪いことではないと考えるからこそ、この問題はかな り重要な意味を持つ:

敵は常にわれわれの中に情報提供者を植え付けようとし、それに対する防御はできないので、いかなる行為についても自慢することは、関係する同志を直接危険にさらす。噂話は、敵が内部の状況を正確に知り、最も重要な指導的同志を見つけ出し、弱点を認識し、それによって対策をよりよく練るのに役立つ。しかし、内部においても、ゴシップ、特に個人的な弱点や同志の私生活についてのゴシップは有害であり、しばしば雰囲気を毒し、互いの同志意識を危険にさらすものである。ゴシップ、噂話、行われた行動についての自慢話は、敵の抑圧的な手段や意図的な裏切りよりも、全体として確実に敵を助けている!

通常、その背後には悪意はなく、同志は自分の行動が運動に損害を与えていることに気づいていないことも確かである。そのため、リーダーやサブリーダーは、このことを何度も同志に指摘し、必要であれば、強力な行動をとることがより重要になる:教えられない自慢屋、プロのゴシップ屋は、裏切り者、共感できないエゴイスト、臆病者と同様に、政治的兵士の部隊に属さない!もちろん、指導的な同志は、彼自身がゴシップから解放され、模範となる場合にのみ、ゴシップに対する成功を収めることができます。指導者と従者が、革命的活動にとっての秘密の重要性を共同で認識したときにのみ、政治的兵士の共同体は、真に革命的な戦闘力となりうるのである!

しかし、そのような戦力においては、ルールが必要である:

誰も自分の任務を遂行するために必要な以上のことを知る必要はない。これは、恒久的な任務の場合--たとえば、運動内の分科会や事務所を指導する場合--と、党から命じられた単発の具体的な行動に直面した場合の両方

にあてはまる。命令が実行された後、関連する党の事務所に報告され、その問題は終了する。決定されたことの正しさについての意見の相違は省略される - 党が命令し、政治的兵士が従う。党の命令を受け、政治家の兵士はそれに従う。政治家の兵士は、他の仲間や一般大衆を不安にさせることなく、党の方針を外部に表現する。

決定を下す前に、リーダーは、自分の知識や立場によって、有意義な 貢献ができそうな他の同志の意見を求めることができます。しかし、 その後に何もしないか、まったく別のことをする可能性があるため、 可能性のあるすべての同志に、決断の可能性、危険性、チャンスにつ いて話すことはしない!

提案、アイデア、提案、あるいは問題や疑問を持っている政治家の兵士は、上司に向かい、すべてを提示し、その決定を受け入れ、それに従って行動する。しかし、同志に影響を与えたり、動揺させたりするために、同志を頼ることはしない。最後に、政治家兵士は、仲間や上司の噂話をしない。党に不利になると思われる具体的な事実を知った場合、担当の党事務所に報告し、その決定を受け入れる。

党とSAは、戦闘員の人格を抑圧しないが、ブルジョアの弱点とリベラリストの習慣を完全に克服することを彼に要求するのである。しかし、これには確かに、最後の場所ではなく、秘密の義務が含まれている!

### BE TAPPER!

#### 勇気とは、自分に打ち勝とうとする意志である!

政治的兵士の十戒は、国家社会主義者の戦士が自分に合った態度や人 生観を見つけ、ブルジョア的思考や感情の残滓を完全に克服するのに 役立つものです:

私たちは皆、このブルジョア、自由資本主義体制の中で育ち、私たちを取り巻く退廃的な雰囲気に影響されました。私たちは皆、もともと、生活水準や快適さ、幸福感だけが努力する価値があり、自分のエ

ゴが何よりも大切で、歴史や国家、生活の秩序をブルジョワ的に理解 することが自然なことだと学んできました!

しかし、私たちは皆、まずこのシステムの不自然さ、腐敗、悪の側面を本能的に感じ、その後、国家社会主義の世界観と人生観のおかげで、それらを精神的にも認識し、克服し始めたのです。私たちの仲間にいる戦闘的で兵士的な男も、自分の本性に反して生き、その結果深く不幸にならないためには、この体制と闘わなければならないことを認識したのである。

この闘いは、組織形態-NSDAPの戦闘的な下部組織としてのSA-を必要とし、その知的基盤-国家社会主義思想によって確保される-を必要とし、そして、両方にふさわしい生活態度-それは政治的兵士の10の戒律で明らかになる-を必要とします!

しかし、われわれはヒトラーの孫であるだけでなく、残念ながら体制の息子でもあるのだから、過去の国家社会主義人民国家とNSDAPに意識的に告白するだけでなく、自分の中の支配体制とその価値観を意識的に克服していかなければならない!私たち自身の中にあるシステムを打ち破り、克服し、破壊していない限り、権力政治の観点からも、成功することはないでしょう!

同志の輪の中で、戦闘の中で、イベントや同志の夕べで、私たちはすでに新しい時代の完全な戦士になったと信じることができるかもしれません。しかし、その後に続くのは、より厳しいテントと悪い経験である:

運動内部の危機、同志への失望、中流階級の生活の基盤(家族の絆、 友人の輪、職場、家庭)が完全に破壊されたこと。そして、逮捕、裁 判、ついには投獄となる。システムが、公認された政治的兵士に対し て本当に行動を起こし、彼があらかじめ破壊することを望んでいたブ ルジョア的生活条件を破壊したときに初めて、彼は、党が彼に要求し なければならなかったこと、この損失が自分にとって何を意味するか を本当に理解する。そして、悲しみ、平和と「普通」への憧れ、さら には疑念、自責の念、絶望の時間が訪れることもある。そして、私た ちの同志の多くは、その熱意にもかかわらず、心が折れてしまってい る。 このすべては、あまりにも人間的で理解できることです。生まれながらの英雄は稀である。外的な負担がパフォーマンスや苦悩の個人的な限界に近づくことであったり、友情、情熱、愛によって、本来なら普通の生活への圧倒的な憧れが過剰になることであったり、ほとんどの人がブルジョアの衝動やあこがれに屈する。

政治的な兵士は、そのような誘惑に打ち勝たなければならない。彼は、ブルジョアや俗人を自分の中で何度も何度も克服し、最後に一度だけ、完全に克服しなければならないのだ。私たちは、このような自己克服の意志を「勇気」と呼んでいる。それなしには、政治的兵士は長く戦いを続けることはできないだろう。彼は、この意志を決して失ってはならない!

#### BE PROUD!

#### SAはドイツの宿命であり、今もそうである!

レーム参謀総長のこの誇らしい言葉は、今日、かつてないほど正当化されている。茶色のシャツを着た政治的兵士以外には、国家社会主義運動の輝かしい再生、新しい国家社会主義人民国家、ひいては真の人民共同体の実現のために戦うことはできない--確かに単独ではなく、NSDAPに団結した革命的ドイツ労働者階級と協力して、党の政治指導者の指導のもとで、である。しかし、新しいSAがなければ、国家社会主義者の新しい世代で達成し、将来達成することを望んでいるすべてのことは不可能であった。だからこそ、茶シャツ軍は、当然、国家社会主義運動の最も誇り高い部隊であり、党の背骨であり、剣の腕であり、戦う馳せ場なのである!

政治的兵士が労働者をより鋭く、より戦闘的に表現したものであるように、あらゆるレベルの指導者は、政治的兵士をより鋭く、より厳しく表現したもの、つまり指導的資質を持つ戦闘員の選別に他ならない!

しかし、部隊全体が誇りと自信を持つべきであり、持たなければならないだけでなく、SAの伝統に立ち、その精神に従って生き、戦う個々

の政治家兵士もまた、誇りと自信を持つべきである!このように、彼は、かつて国家社会主義が腐敗したブルジョア世界を嵐のように克服することを可能にし、1934年の誤った展開のために運命的に失敗するまでは、歴史上ユニークなその部隊に属しているのである。しかし、彼はまた、1977年以来、敵の多い世界に対して、新しい効果的な国家社会主義運動を構築し、戦ってきた部隊にも属している--最も小さな始まりから始まり、これまでテロや迫害に対してそれを維持してきた!

誇りと自信-それは、党に対するSAの、また他の政治的・社会的戦線に立つ党の同志に対する個々の政治的兵士の、傲慢な横柄さを意味するものではありません。SAの伝統と精神を本当に理解し、それに従って生きている人たちは、そのような事態に陥ることはなく、党を傷つけるような傾向を一貫して抑圧することでしょう。

しかし、誇りに思え-そう、彼らはできる、そしてそうすべきなのだ!彼らは、鈍重な大衆や俗人よりも千倍も価値があるのだ。彼らはドイツの未来であり、最後の希望なのだ!

SA man - be stotz! ブルジョワのコメンテーターの戯言に、半端で偽善的な国の「心配性」や反動主義者の妥協的迎合に、アンチファの威勢に、ブルジョワ国家の扇動、迫害、抑圧の怒りに感動してはいけない。あなたはそれらすべてより優れている!民族社会主義的信念によって優れ、人生に対する英雄的態度によって優れる!あなた方はドイツ民族の戦闘的エリートである!

あなたは「無名のSAマン」であり、国家社会主義革命の騎士であり、第 三帝国の創造者であり、そして私たちが信じ、望み、全力と情熱をもって 望むように、いつの日か第四帝国の創造者でもあるのです!







## NSDAP/AOは世界最大です

# 国家社会主義プロパガンダサプライヤー!

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物 多くの言語の何百冊もの本 多くの言語の何百ものウェブサイト





www.third-reich-books.com